企業ネットワークを新しい力に

茨城県特集

茨城県研究開発型企業交流協会

研究開発を積極的に志す企業の会

組織改革、企画・立案部門を強化

1989年11月に設立した茨城県研究開発型企業交流協会（IRDA、イルダ、辻信行会長＝ツジ電子社長）が今年度に入って企画・立案部門を強化する改革を実施した。今年5月のIRDA総会で、ペンギンシステム（茨城県つくば市）の仁衡琢磨社長が下部組織「23会」のリーダーに就任。同協会の略称も「いばらきR&D協会」とすることが承認され、さらに23会が提案した実行部会の立ち上げも承認された。

今年5月のIRDA総会では各種改革案が承認された

共同受注窓口設置も検討

組織改革の主な変更点は、既存の最終決裁機関の役員会と、企画・立案機関の23会に、実行機関の実行部会を新設することで3機関の位置づけを明確にしようというもの。平成23年度に立ち上がったことが名前の由来となった「23会」は次世代経営者など若手中心の集まりで、企画・立案を活動の主な目的としていた。だが立ち上げ後、IRDA事業の実行に伴う作業に時間が割かれ、「企画・立案に割く時間が十分にとれなくなっていた」（仁衡23会リーダー）。このため、実行機関としての実行部会を設置し、企画・立案機関と分けることで、企画・立案を強化しようと考えた。

IRDAの現在の会員数は31社。このうち、23会は主力メンバー7人で構成され、つくばの研究成果を県内企業へ橋渡しをする県商工労働部の「いばらきサロン」と、つくば市の技術開発支援室の2機関をオブザーバーとしている。実行部会は広報部会、IRDA事業部会、会員間交流事業部会、オリジナル事業部会の四つ。部会長は23会の主力メンバーが担当、部会員としてIRDAの各会員企業から最低1人に参加してもらい、7－8人で構成している。

実行部会では、産学官技術交流会や自主開催の展示会など既存のIRDA本体の事業に加え、23会オリジナルの県外見学会や新規発足事業の実行も役目。早速、今年7月に2泊3日で沖縄の産業を調査する視察会を実施した。また、会員間交流事業を積極的に実施することで、「感覚的には会員間での受発注も2年前に比べ2－3倍に増えている」（同）。

こうした受発注の活発化を背景に23会では共同受注の窓口の設置を検討している。「窓口がないため、共同受注できそうな案件を逃してしまった可能性が大いにある」（同）として、難しい案件でも果敢に取り組む潜在力のある「いばらきR&D協会」の基盤作りに一層の力を入れて取り組む。

今年7月の沖縄産業調査では、公設研究機関や廃ガラスリサイクル事業会社などを視察した

いばらきものづくり未来研究会

若手経営者の育成を目的に

勉強会や見学会で相互協力

いばらきものづくり未来研究会は、県内の若手経営者の育成を目的に2001年に発足した。全国の中小企業の受発注や仲介を手がけるNCネットワークを顧問に、茨城県中小企業振興公社が事務局を務める。初代会長の関正克関プレス社長は「地域のコミュニティーはあるが、情報も限定され、悩みも打ち明けにくい。県全域であれば仕事も違い、相互協力も可能になると思った」と当時を振り返る。このため県内を県央、県北、県南、県西、鹿行のエリアに分け、東京本社でも茨城県内に工場のある若手で元気、前向き、技術力があり将来有望な中小企業の2代目、3代目を選抜し、約20社でスタートした。

40歳定年〝で常に若返り

「若手が発言しやすいように」（関社長）と、途中から40歳になったら退会するルールを導入。常に若返りを図りつつ、すでに12年が経過した。現在は約30社が会員となり勉強会や工場見学会を実施している。2013年度は広沢技術振興財団から研究会事業のセミナー事業継承などの勉強会を開催するほか、外部講師が採択され助成金を受けによるマーケティングの勉強会など、座学にも積た。会長の今橋正守今橋製作所社長は「リーマンショックや東日本大震災極的に取り組んでいる。があって勉強の必要性を一方、40歳という〝定痛感するようになった」年制〟があるため、メンバーの維持も大変だ。

「今のメンバーは団塊ジュニアが多く、2、3年後には3分の1が抜けてしまう」（今橋社長）ことから若手後継者の会員開拓は欠かせない。30歳前後をどう増やしていくかが最大の課題だ。

ブランディングについてセミナーを開催

同研究会のポイントは全国の中小企業に精通したNCネットワークが顧問として参画していることと、茨城県中小企業振興公社が事務局が務めている点。自治体にはあらゆる助成制度があるものの、それを知らない中小企業も多い。知っていても利用の仕方、申請書の書き方はハードルが高い。こうした情報の発信からサポートまで、中小企業のあらゆるサポートを提供している振興公社が事務局を務めていることで、会員はトータルサポートを享受している。

他方、40歳はまだまだ若く、経営者としてもこれからといえる。「OB会を作ってほしいという声もあったがOB会では意味がない」（関社長）といい、同研究会の発展系として県の枠を超えた新たな交流会の創設を模索している。

福井県のチタンクリエーターを訪問

明日の未来を担う
茨城の優良企業

各種研削盤用
砥石フランジ
内径・外径用マスターゲージ
http://www.inamism.co.jp ●各メーカー対応 ●オーダー製作可
株式会社 稲見精密　本社工場 〒308-0001 茨城県筑西市樋口774-3
TEL 0296-25-0892　FAX 0296-25-0827

切削加工の
限界を追求する。
難形状・難削材・SUS/AL精密加工
株式会社　今橋製作所
日立市十王町伊師20-42（伊師工業団地内）
Tel 0294-39-1161　Fax 0294-39-1162
http://www.imahashi-ss.jp

流体性能試験システム
部材試験　エンジン　冷却系　空力計測　室内　排気系
TRS ツクバリカセイキ株式会社
http://www.trs-jp.com　E-mail:trs@trs-jp.com

S.P.エンジニアリング株式会社
各種産業機械・電気制御品の設計・製作
（メイン：製鉄機械・原子力機器・研究開発品・ECO品など）
取締役社長　泉　富栄
〒317-0074・日立市旭町2-2-11　☎0294(24)7555(代)
URL http://www.sp-eng.co.jp/

YAMATO
お客様に感動と喜びを!!
ヤマト精機株式会社
代表取締役　萩原　晃
〒308-0837　茨城県筑西市嘉家佐和2101
☎0296-25-3488　FAX 0296-25-3490
E-mail　yamato11-22@celery.ocn.ne.jp

ニードルローラー
SUJ2・SUS
専門メーカー
円筒形コロ『短納期』対応
異形ニードル『小LOT』対応
小径ニードルピン『φ0.5～』対応
Mizui Seiko CO.,Ltd. Miniature Shaft And Roller
瑞井精工株式会社
茨城県常陸太田市折橋町825
TEL：0294-82-2241　FAX：0294-82-2251
http://www.mizui.co.jp
ISO9001　ISO14001 取得企業

割裂（WARISAKI）加工で広がる無限の可能性!!
割裂技術～成形技術～ヘミング加工技術～異種金属接合技術を
プレス加工で実現いたしました！
金属を割って裂く　割裂(わりさき)工法
金属板・棒・コイルをプレス金型内で分割し三次元形状を実現
国内特許取得・国際特許出願・商標登録済
割裂部品類を見ると、貴方の設計思想が変わります
お問い合わせ先
関プレス　金属加工のデパート
〒316-0013　茨城県日立市千石町4丁目3番20号
TEL. 0294-36-0300　FAX. 0294-34-5947　URL. http://www.sekipress.jp/

電子回路の試作品から
量産品まで承ります。
《1台限りの特注品を大歓迎します》
得意な分野は
パルスモータコントローラ
高速カウンタ・タイマ
マイコン応用装置
FPGA(DSP)応用装置
アナログ・ディジタル回路
LAN応用計測・制御装置
APPLICATION OF ELECTRONIC DEVICES
ツジ電子株式会社
X線回折データ収集ソフト"SPEC"の日本代理店
本　社／〒300-0013 茨城県土浦市神立町3739
TEL.029-832-3031(代) FAX.029-832-2662
[ISO9001/ISO14001認証取得]
↑本社外観
詳しくはホームページをご覧ください。▶http://www.tsujicon.jp/